

(件名)

弾道ミサイルを想定した避難訓練（磐田市）の実施結果

(危機管理部 危機対策課)

1 目的

磐田市立豊岡中学校で、Jアラートにより伝達される国民保護に係る警報及びミサイル関連情報等を関係者に周知するとともに、実際に弾道ミサイルが飛来した際の基本的な対応要領に対する理解を深めることを目的に、学校関係者による弾道ミサイル飛来時を想定した避難訓練を実施した。

2 実施の概要

実施日時	平成30年1月24日（金）14:00～14:20
場所・時間	磐田市立豊岡中学校
主催	静岡県、磐田市
参加機関等	磐田市教育委員会、磐田市立豊岡中学校
訓練想定	X国から弾道ミサイルが発射され、周辺に飛来・着弾する可能性があるとして伝達（同報無線）された。
主要訓練項目	<ul style="list-style-type: none">・防災行政無線（校内放送器材で模擬）による学校関係者への情報伝達を実施し、Jアラートにより伝達される国民保護に係る警報及びミサイル関連情報を周知・生徒が実際に避難行動を行い、弾道ミサイル飛来時のとるべき行動を確認・弾道ミサイル飛来時に教職員が行うべき、生徒への指示・誘導要領を確認

3 参加人員等

(1) 参加人員：342名

- ・ 訓練参加者：312名（豊岡中学校 生徒：298名、教職員：14名）
- ・ 統制員：29名（静岡県：14名、磐田市：8名、豊岡中学校：7名）

(2) 参観者：22名（各危機管理局：9名、磐田市学校関係者：13名）

(3) 報道機関：テレビ局：4社、新聞：3社

4 訓練の成果と課題

(1) 成果

- ・ Jアラートにより伝達される国民保護サイレン音及び引き続き発せられるミサイル関連情報の内容等を訓練参加者が確認
- ・ 弾道ミサイルが発射された際に、周辺建物に避難する等の基本的な対応行動を訓練参加者が理解
- ・ 窓から離れる、姿勢を低くする、頭部を保護する等の屋内等における対応行動を訓練参加者が理解
- ・ 教職員が弾道ミサイル飛来時の生徒への指示・誘導要領を確認

(2) 課題

- ・ Jアラートによる避難指示が発せられた当初、ミサイル飛来までの時間的余裕がなく、かつ弾頭種別、着弾予想地点等が不明であり、個人による適切な避難先（その場で伏せる、付近の物陰隠れる又は周辺の建物に避難する等）の選択が困難である。
- ・ 登下校中の生徒の対応要領については、具体的に示されていない。
- ・ 周辺地域での着弾時等、初動の対応行動以後の対応が不明確

5 今後の対応

- ・ 今回の訓練実施状況について、教育委員会等を通じて各教育機関等に伝え、それぞれの機関での対応行動等の教育・訓練等の実施の呼びかけを行う。
- ・ 生徒の登下校中等、各種の状況に応じた具体的な対応行動の明示について、国へ要望する。
- ・ 公共交通機関、商業施設・各種公共施設・学校等、多くの人々が集まる施設等における運営団体職員等の緊急情報発報時の対応要領の整備の働きかけを行う。

避難訓練実施状況



訓練開始前（教室）



訓練開始直後（教室）



訓練中（教室）



避難態勢（教室）



避難態勢（教室）



避難態勢（教室）



避難態勢（理科室）



避難態勢（理科室）



訓練開始直後（校庭）



訓練中（校庭）



訓練中（校舎入口）



避難態勢（校舎入口）